

黒川地区まちづくり懇談会(新庁舎整備事業)

【質疑応答記録】

日 時：令和4年10月29日(土)

19:30~21:00

場 所：黒川ふれあいセンター
大会議室

参加者：38名

凡例 ■：質問・意見 →：白川町 ⇔：設計事務所

<質疑応答>

■ 浸水対策工事と連携して工事などをしていくのか。

→直接的に連携することは無いが、工事の時期が重なることや、堀通り周辺の側溝や排水などの関係がでてくるので、堀通りの道路や水道及び浄化槽の排水などを一緒に整備していきたい。

■ 今でもトンネルの交差点は、時間帯によって渋滞しているように感じるので、庁舎へスムーズに入れるのか心配。

→現庁舎でも一度に多くのお客様が来庁されることは少ないので渋滞が発生することはあまりないと考えているが、様子を見ながら運用していきたい。職員の駐車場は、現庁舎の駐車場の予定なので、朝夕の渋滞への影響は少ないと考えている。

■ 大きな木造の建物だと、大きな業者が受注してしまい、地元の小さな大工さんでは、構造材などの加工の仕事は、なかなかもらえないのではないかと。内装などはあるかもしれないが。

→まだ細かいところは決まっていないので、町内の業者さんにも建設からメンテナンスまで関わってもらえるような発注の方法にしていきたい。

⇔トラス架構を採用しているが、難しい加工や金物は使わず、地元の大工さんでもできるような在来工法の継手で作れるようにしている。同じトラス架構が連続する構造にすることで、たくさんの大工さんに関わってもらえるように仕組み作りをしたいと考えている。

■ 現庁舎と新庁舎では、床面積や光熱費はどのくらい違ってくるのか。これから白川町は、もっと高齢化していくので、若い人たちの負担にならないようにしてほしい。

⇔建物の大きさとしては、現庁舎が2,200㎡、新庁舎が2,600㎡となっている。

→光熱費の電気代については、現庁舎で年間50万円ぐらい、新庁舎で最大で370万円ぐらいになる想定。太陽光発電で年間50万円ぐらい賄える見込。

■ 床の材料は何か。

⇔ひのきの圧縮フローリングを採用予定。